



海外研究室交流プログラム(SSSV)

マレーシア(UPM, UTM, UMP)

工学部 化学バイオ工学科 二又・田代研究室

Overview

■ 訪問場所: マレーシア

Universiti Putra Malaysia(UPM)

■ 訪問大学: Universiti Technology Malaysia(UTM)
Universiti Malaysia Pahang(UMP)

■ Member:
鈴木研志(D3)
加藤秀基(M1)
本荘雅宏(M1)
高木航太郎(M1)
引率: 二又先生、田代先生



Universiti Putra Malaysia(UPM)

- クアラルンプールにある公立大学。
- 1931年に農学を学ぶための大学として設立。
- 現在では工学、農学、経済学など16の学部が存在する。
- これまでも二又研はかかわる機会が多くあった。



Universiti Technology Malaysia(UTM)

- マレーシアで最も長い歴史を持つ国立の工業系大学。
- メインキャンパスはジョホールバルにある。
- コンピュータ工学、情報工学、化学工学など12の学部が存在。
- 100か国以上の国から留学生が多数在学。



大学構内にモスクが存在。

Universiti Malaysia Pahang(UMP)

- パハンペカンにある公立大学。
- 2002年に設立された新しい大学。
- 機械工学、地球資源工学、製造工学など10の学部が存在。



元々工場だった建物を再利用。

Presentation

- 3大学それぞれで研究発表を10分ほど行った。
- 質疑応答もちろん英語。
- マレーシアの学生さんの発表も聴講。



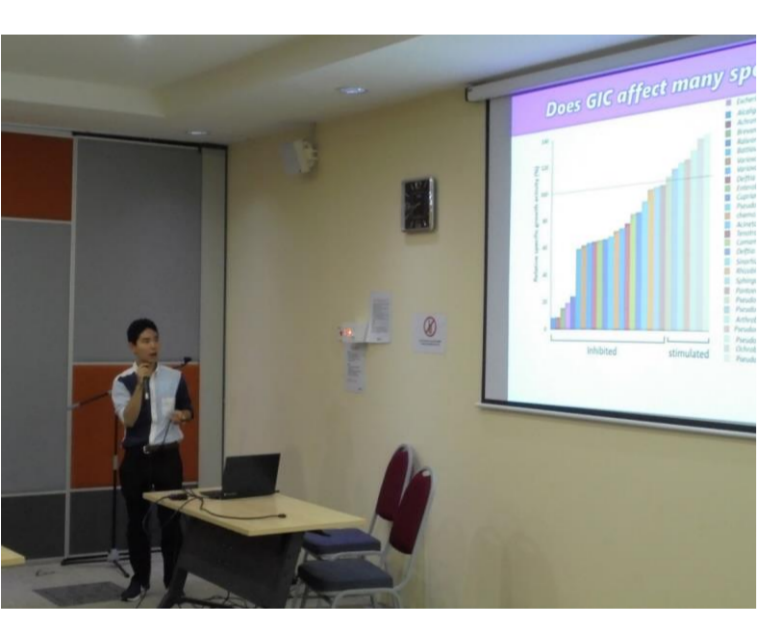
UTMでは交流発表の記念プレートをいただいた。

Lab Tour

- UPMではロボコンに向けてロボット製作しているところ、果物の評価法を研究しているところを見学。
- UTMではプラントを扱う研究室と化粧品を扱う研究室を見学。
- UMPでは違う分野の研究室が隣接していた。



化粧品のラボでは香水を調製。



UMPではレベルの高いディスカッションが行われた。



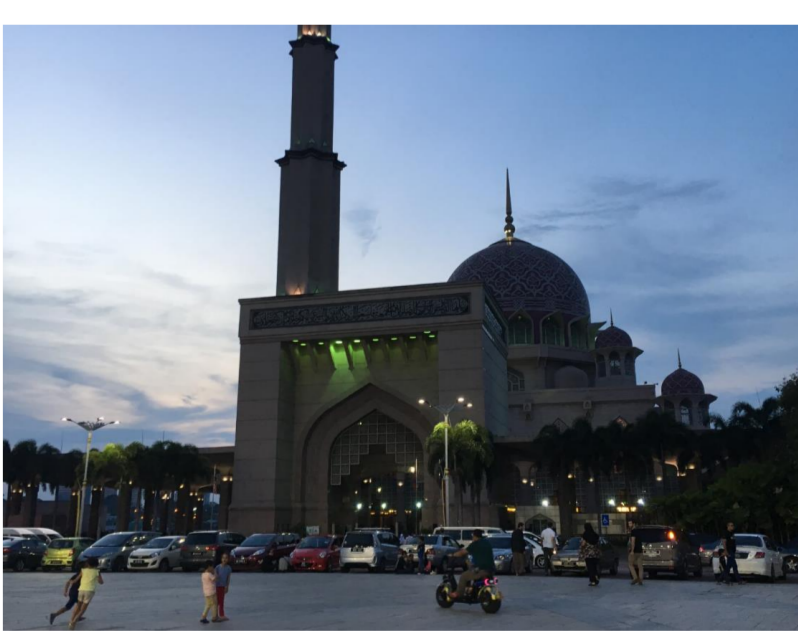
UPMでの発表後の集合写真。



Cultural exchange

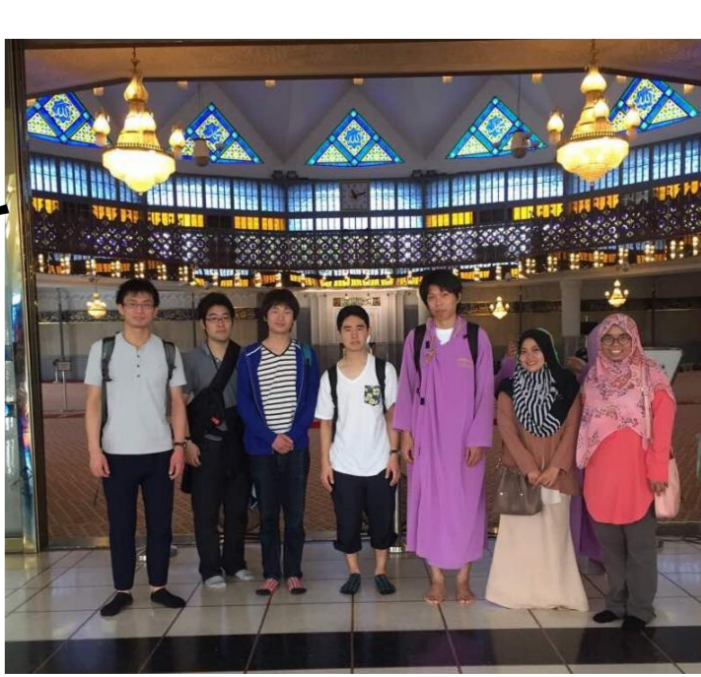


マレーシアの伝統料理であるナシゴレンやサテー、ドリアンやジャックフルーツなど様々な食文化を体験。お茶には必ず大量の砂糖が入っているのが当たり前！



モスクの中も見学。

休日はUPMの学生にクアラルンプールの案内をしてもらいメジャーなところから地元の人しかいかないうちまで様々な場所を観光。



Conclusion

- マレーシア国内で離れた場所にある3大学に訪れたことでそれぞれの場所によって少し文化が異なったり、都市部と田舎の両方を体験できたことは大きな経験になった。
- また、海外の大学がどのように研究を行っているのか話を聞くだけでなく、実際に自分の目で見たことは大きい。
- 英語での発表経験、研究のディスカッションや交流はこれからの役に立つであろう。